

日本とオーストラリアの学校の違い

吉岡 華 (高校1年)

私はオーストラリアのキャンデンハイスクールに行ってオーストラリアの学校を体験してきました。

一日の流れです。

時間割	～1日目～	～2日目～
8:40～9:00 出欠確認		
9:00～10:00 1時間目	数学	コンピューター
10:00～11:00 2時間目	体育	フリータイム
11:00～11:30 休憩時間	生物	体育
11:30～12:30 3時間目		
12:30～13:30 4時間目	コンピューター	教育
13:30～14:00 休憩時間	クッキング	コンピューター
14:00～15:00 5時間目		

私がオーストラリアの学校に行ってびっくりしたことが三つあります。まず一つ目は、授業が終わったらチャイムとともに電気が消えることです。このチャイムがなると生徒は次の授業の教室へ移動し次の授業が始まるのですが、休み時間はなく、授業の始まりはいつもよくわからないまま始まりました。

二つ目は生徒の授業を受ける姿勢です。日本では授業中は静かにしなくてはいけないのですが、オーストラリアの生徒はすごく賑やかでした。先生に授業をする上で大切にしていることは何かと尋ねたら、生徒同士の話し合いを重要視しているそうです。わからないところはお互いに聞きあって、助け合っているようです。

三つ目は、授業の内容です。クッキングや、教育（赤ちゃんの育て方）など日本の専門でない公立高校では、受けられないような授業内容だったので変わっていて面白かったです。また、週に何回かフリータイムという授業がない時間もあり、そこにも日本との違いを感じました。

この体験を通じて、改めて教育の方針は国によって違うのだなと体感することができました。なかなか、新鮮で面白かったです。また、学校にいた生徒は私たちに興味を持ってくれて、いろんな人が話しかけてくれました。すごく貴重な体験をしたなと思います。



ホストフレンドと